

プログラム名	森の福笑い	
ねらい	木々の「本」本の形や大きさの違いにふれて、木の表情を想像して楽しむ。	
使う感覚など	 みる  きく  はなす  さわる  かぐ  つくる	
場所	園庭、身近な自然（樹木のある場所）	
準備物	画用紙（○、△、□に切っておく）、油性マジック、ガムテープ、カメラ	
子どもの活動		ポイント
○活動範囲を全員で１周歩く。 ○「森の福笑い」の説明を聞き、はじめる。 ・グループに分かれる。 ・どんなふうに見えるかグループで相談し、決まったら、保育者に伝え、もらった画用紙に目を描き貼っていく。 ○他のグループが見つけた福笑いを見合う。 ・「この木は笑っているよ」 ・「ボコってなってる所が鼻で、凹んでる所は口だね、目は三角がいいかな」 ・「びっくりした顔に見える！」 ○片付けをする。 ・木に貼ったものを全部片づける。 ○振り返り		・活動範囲を子どもと歩きながら、様々な木があることや注意する場所、細い枝は赤ちゃんだから折らないように、など声をかける。 ・カードを見せながら、やり方を説明する。 ・活動範囲や合図で集まることを確認する。 ・画用紙、マジック、ガムテープを持ち歩く。 ・子どもの発見に共感しながら、いっしょに楽しむ。   ・違った表情の表し方に気付かせたり、「どんなおしゃべりしているかな」など声をかけたりし、想像が広がるように促す。 ・「にらめっこ記念写真を撮るよ」と声をかけ、福笑いした木と一緒に写真を撮る。 ・取り残しが無いように確認する。 ・見つけたものや、楽しかったことを伝え合う。
安全対策	・保育者同士が連携を取りながら、子どもたち全員を視野に入れておく。 ・かぶれる種類の木ではないか、毛虫はいないかなど確認する。	
つながる 絵本・歌	『木の本』福音館書店 1986 『木』福音館書店 2005 ♪あがりめ さがりめ 『ふゆめがっしょうだん』福音館書店 1990 『かおかおどんなかお』こぐま社 1988	
広がる 遊び	・福笑いなど昔遊び ・にらめっこ	